

藤樹人間学塾…

藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生関連の著書を中心に思想を学ぶとともに自らの頭で考え、時事問題と組み合わせて皆で議論しながら思考を深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその概要をお伝えいたします。

■五月、安曇川公民館で第百六十一回人間学塾を開きました。大津から二名を入れて六名参加でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』（中公バックス日本名著）以下同

●今日のポイント

・わが子の育て方・・・人を育てるには心根には仁愛があつて、いつもは厳格であるのがよい。厳格な親を子は怨まず、少し情けをかけると喜ぶ。今まで柔和にしてきた場合は、徳を積んで柔和でも人を諭すように努力をする。

◇フリートークキング

・「人の教育には規律重視か、自由重視か、いろいろ考え方があると思うが、根本に仁愛がある厳しさ

が必要だ」

■六月、安曇川公民館で第百六十二回人間学塾を開きました。京都から一名、大津から六名を入れて十一名参加（うち女性六名）でした。

●今日のポイント

・学舎の壁書・・・（一）仁者は太虚（宇宙の根元・大宇宙）を心とする。天地、万物、山水、河海はみなわがものである。（二）君子は人が見てもよいとしても、神が見てよくないことをしない。人が見て悪いとしても天が見てよいことは行う。

●フリートークキング

・先日亡くなったウルグアイのホセ・ムヒカ大統領のドキュメンタリー映画を観た。彼は貧しい家庭に生まれ、十代から政治活動をして独裁政権に反抗する組織に加わり、何回も投獄された。十三年間投獄されたときには独房でもう一人の自分と話し合つて生き延び、大統領にまでなった。これは今日の君子の生き方に通じる」

■七月、第百六十三回人間学塾を開きました。今回は初参加四名を含めて十二名の参加（うち女性五名）でした。



●今日のポイント

・易と孝経・・・（一）易経。天は無限の包容力を持ち無限に変化する。我自体その本源に立てばいくらでも自分を易（か）えていくことができる。六十になつても七十になつてもなつただけの変化をする。生きていく限りは変化してやまない。これが本当の易学。

（二）孝経。愛敬は元来一本の孝徳である。孝徳は天地万物を生み出す太虚神明に外ならぬ。人間の心の慈愛おだやかなものは太虚（大宇宙）の発露である。これが藤樹先生の教えの根本。

●フリートークキング

・「初参加。安岡正篤師の『五十年

にして四十九年の非を知りますます勉強する』に感銘を受けた」

■八月、第百六十四回人間学塾を開きました。大津市から二名を入れて八名の参加でした。

●今日のポイント

・孝の心法・・・孝は天地が形をなさない前から存在し、太虚（大宇宙）の神道である。…藤樹の「全孝図」で説明しました。蕃山の「心法図解」も図に描いて説明しました。

●フリートークキング

・「本塾は、内容が濃くて大変充実している。資料の準備がたいへんだらうと思う」
・「参加して今後の自身の人生を考える良い機会になつた」
等の意見をいただきました。ありがとうございます。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

藤樹人間学塾 今後の予定

十月四日（土）、十一月一日（土）、
十二月六日（土）

■時間（原則）十五時～十七時

■場所（原則）安曇川公民館

十一月は藤樹神社